

とび箱遊び

乗る・またぐ・ふみこし・とび乗り・とび越し

とび箱遊び

自然の原野には岩や大石がたくさんある。それに乗りとび越した。また馬や牛を飼ったり、それにとび乗ることは日常のことであった。その代替・発展したものがとび箱遊びである。

この遊びのねらい

小さな障害物に乗る。とび乗る。とび降りる。走ってきてとび上がったり、両手をつけてとび越すなどが楽しめるようにさせたい。走ってきて両足踏切りで両手つきとび越しは高度な脳の働きであり、それも得させたい。

やさしい遊び

とび箱はこび



岩とび



小馬乗り



指導の手立て

- 分解したとび箱や大積木を持って動き回り、合図で置いたり、組み立てたりする。
- とび箱の頭や大積木をばらばらに置き、上から上へととぶ。
- とび箱の上に腰かけたり、またがったり、立ったりする。

memo

工夫して熱中する遊び

走りふみとび(大とび)



とび乗り 腕立て横とびこし



うで立てとびこし



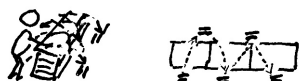
指導の手立て

- 低いとび箱を、走ってきて片足でふんで大きくとぶ。(跳び上下)
- 走ってきて、とび箱にとび乗る。(乗馬)
- とび箱の横から、上に両手をつけて強くけて反対側へ降りる。
- 大きく踏み込んで、両手をとび箱の上につき、両足で強くけり、両足を大きく開きとびこす。

memo

発展した遊び

腕立て横とびこしつづけとび



腕立てとびこしつづけとび



指導の手立て

- とび箱をたてにつないで並べ、腕立て横とびこしでつづけてとぶ。
- とび箱を間をあけて並べ、次々とつづいてとびこす。
とび箱の間は1m前後にする。

memo